

平成 20 年度キャリア教育推進事業について

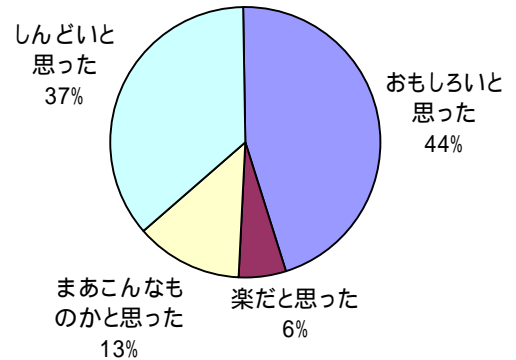
職場体験学習アンケート調査結果

(無作為抽出)

子どもの声

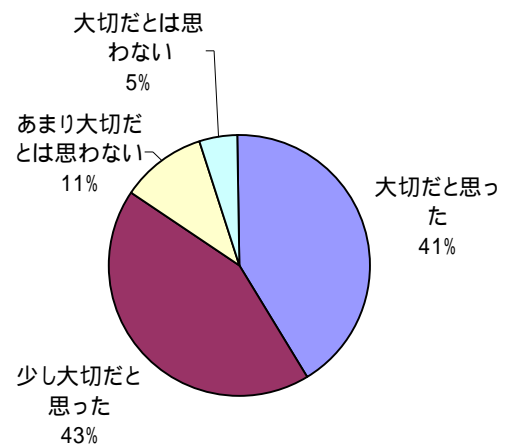
「仕事」をすることに対してどのような気持ちを持ちましたか。

- ・ 仕事に対して興味を持った生徒が 4 割を超え、また、仕事をするこつらさを感じた生徒も 1 / 3 を越えている。



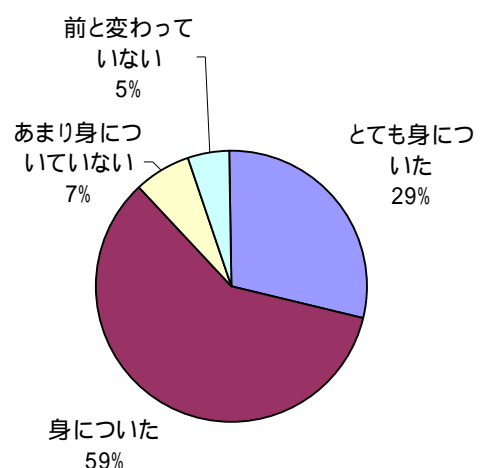
体験したことで、毎日の学習活動が大切だと思いましたか。

- ・ 80%以上の生徒が毎日の学習が大切であると答えている。職場体験学習が、日々の学習の大切さに気づく取り組みのひとつになっていると考えられる。



礼儀作法やあいさつなど、あなたのマナーは向上しましたか。

- ・ 約 90%の生徒が、礼儀作法やマナーが身についたと回答している。規範意識の低下が問題となっている現在、「働くこと」を通して、あいさつや言葉遣いの大切さを実感したと考えられる。

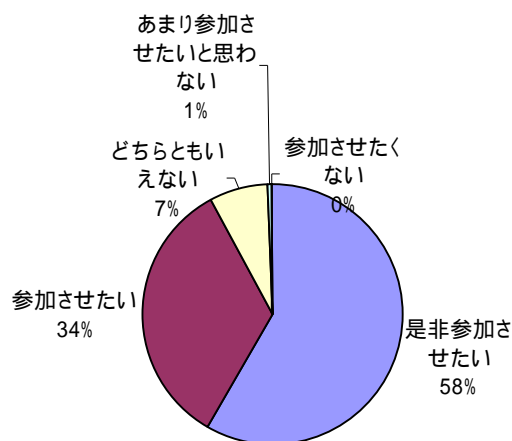


また、協力していただいた事業所からは、「中学生がいかにか職業について考えているのか。体験することによって、変化するよい機会だと思います。」「働く事により収入があり、生活できる事を重要に意識付けができる。」「3～4日間あれば色々な仕事内容を体験できたと思います。」との感想があった。

保護者の声

「職場体験学習」のような活動の機会があれば、また参加させたいと思われませんか。

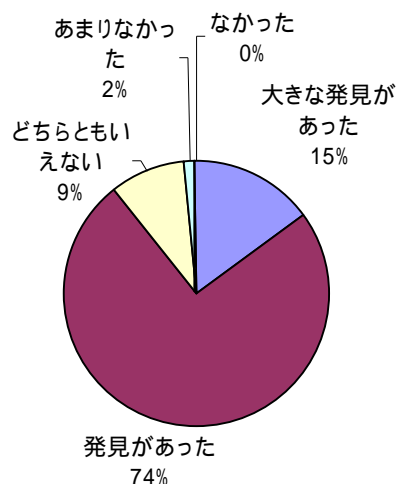
- ・ 約 90%の保護者が「職場体験学習」を肯定的に捉えている。
- ・ また、「行動が変わった。見方も変わり、色々なことによく気がつくようになった。視点が変わることによって将来について、さらに真剣に考えるようになった。」
「職場体験のことを楽しそうに話してくれました。よい体験だったと思います。」等の感想が寄せられている。



教職員の声

「職場体験学習」の後、これまで見られなかった生徒の新たな側面などの発見がありましたか。

- ・ 90%近くの教職員が「職場体験学習」を通して、普段の学校生活では見られない生徒たちの一面を発見している。生徒の持つ様々な個性を知り、それらを伸ばす教育活動につなげていくことができると思う。



「職場体験学習」がこれからの教育活動を考える契機になりましたか。

- ・ 80%近くの教職員が「職場体験学習」がこれからの教育活動を考える契機になっている。

また、「職場体験学習」を通して、地域の方々との交流が深くなり、職業についての学習だけでなく、地域の学習にもなったとの意見もある。

